

教師力向上支援事業派遣研修報告書

- 1 所属・職・氏名 富山県立富山商業高等学校 教諭 恒田 真智子
- 2 研修期間 令和3年12月27日(月)
- 3 調査研究課題 問題解決型学習(PBL)を取り入れた授業研究
- 4 研修機関等 岐阜県立岐阜商業高等学校
- 5 研修の概要

問題解決型学習(PBL)を取り入れた授業研究を岐阜県立岐阜商業高等学校に依頼していたが、新型コロナウイルス感染症による休校により訪問が困難となったため、オンラインでの研修を行わせていただくこととなった。

岐阜県内の商業科教員6名による「コンテンツ作成専門委員会」のオンライン研修に参加させていただいた。令和2年度から新しく立ち上げられた専門委員会、委員会のメンバーは採用されて2年目ぐらいの若手の教員となっている。これまでは資格取得中心の授業であったビジネス基礎を、ビジネスのおもしろさや他科目を学ぼうとするきっかけとなるよう探求型の授業改善に取り組んでおられる。

テレビ番組の「カンブリア宮殿」や「ガイアの夜明け」を教材とし、A4両面1枚に収まるよう質問内容や記入させる文字数などを検討されていた。取り上げる企業も同じ業種とならないよう、流通・金融・情報通信・モノづくりと多岐にわたっていた。

前回作成したプリントを授業内で実施し、そのときの生徒の様子や時間配分、課題点を報告し、さらに改良するためにはどのようにすればよいか参加者全員が意見を出し合っていた。生徒が記入する感想も文字数を指定するのかもしれないのかについても話し合われていた。また、番組内で登場した商品やサービスについても生徒がイメージしやすいか身近なモノかなど提示する用語一つひとつ検討されていた。もし知らないモノであっても調べながら取り組むことも必要なのではと意見が出るなど、「探求」をベースに置いたプリント作りがなされていた。

自分の考えをまとめながらプリントを記入して終わりではなく、他者の考えを聞くことによって最初とは違った新しい考えが生まれることもねらいとされていた。

<感想・まとめ>

「コンテンツ作成専門委員会」のメンバーが若手教員で構成されており、中身の濃い議論がなされていたことに驚きを感じた。作成されたプリントも教員の自己満足とはならないよう、常に生徒目線でのチェックが行われており、徐々に形が整っていく様子がうかがえた。教科書の中だけでは学べない地域の企業や興味関心を広げられるよう工夫が多数あり、複数人の手によって一つのコンテンツを作り上げていく楽しさも感じられた。

このような研修の機会を与您いただき感謝申し上げます。